

アトサヌプリ

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

・ 火口や噴気の状態 (図 1～図 6)

20 日に北海道の協力を得て上空からの観測を、29 日に現地調査を実施しました。

アトサヌプリ溶岩ドームに点在する噴気孔では噴気活動が続いており、白色の噴気が数 m～10m 程度立ち上がっていました。それぞれの噴気温度¹⁾は 100～120℃で (前回 2007 年 7 月：100～120℃)、赤外熱映像装置²⁾による観測では噴気孔群や地熱域に対応した高温域が認められました。熊落し火口を含む溶岩ドーム山頂部では噴気は認められませんでした。

噴気や高温域の状況は、これまで (前回：2007 年 7 月) と比べて特に変化はありませんでした。

1) サーミスタ温度計による

2) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

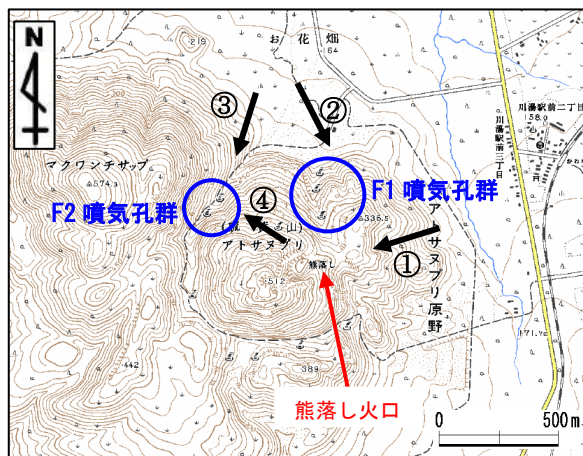


図 1 アトサヌプリ 周辺図



図 2 アトサヌプリ 熊落し火口
(8 月 20 日 図 1 ①方向から撮影)



図 3 アトサヌプリ F1 噴気孔群の状況 (左：8 月 20 日 図 1 ②方向から撮影 右：8 月 29 日撮影)

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 200000 (地図画像)』を複製しています (承認番号 平 17 総複、第 650 号)。



図 4 アトサヌプリ F2 噴気孔群の状況
(左 : 8 月 20 日 図 1 ③方向から撮影 右 : 2007 年 8 月 29 日撮影)

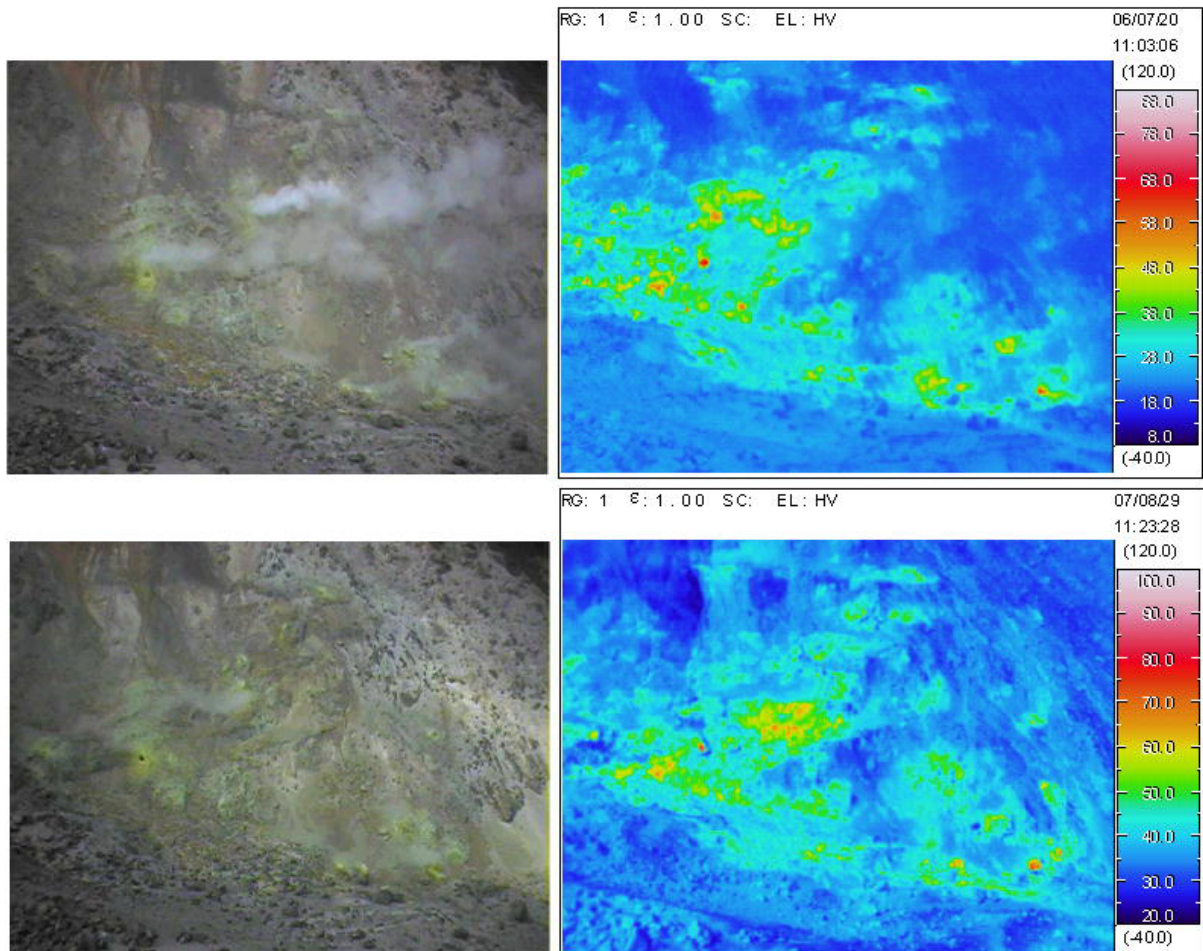


図 5 アトサヌプリ 赤外熱映像装置²⁾による F2 噴気孔群の表面温度分布
(上 : 2006 年 7 月 20 日 下 : 2007 年 8 月 29 日 図 1 ④方向から撮影)